

平成21年4月30日

各位

上場会社名 株式会社中山製鋼所
 代表者 代表取締役社長 藤井 博務
 (コード番号 5408)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 松岡 雅啓
 (TEL 06-6555-3035)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	260,000	11,500	9,000	4,500	34.95
今回発表予想(B)	259,800	9,500	7,100	2,300	17.86
増減額(B-A)	△200	△2,000	△1,900	△2,200	
増減率(%)	△0.1	△17.4	△21.1	△48.9	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	215,089	4,220	2,702	△182	△1.40

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	190,000	8,500	6,000	3,500	27.19
今回発表予想(B)	189,700	6,700	4,300	1,300	10.10
増減額(B-A)	△300	△1,800	△1,700	△2,200	
増減率(%)	△0.2	△21.2	△28.3	△62.9	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	149,016	2,139	476	△660	△5.04

修正の理由

第4四半期の鋼材需要が想定以上に落ち込みましたので、その需要に見合った減産を実施しました。その減産によるコストアップが修正の最も大きな要因ですが、一部の品種で棚卸資産の評価損がふくらんだことにもよります。

また、当期利益の減少につきましては、期末の投資有価証券評価損が見込み以上に発生したこと及び固定資産の更新工事に伴う資産除却損が増加したことによります。

(注記)

※業績等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいています。今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることもあります。

以上